(令和4)年度 児童館事業年間活動報告書 (京都市吉祥院)児童館

			/ 11	<u> </u>) 平度	χ	-/>	グロ - 里	<u> </u>	<u>, 尹 , 月</u>		JH.	」 (白	野 靴		
							参	加		Λ	数					
	\	活動名	実施回数	◎ /上1日	小1~	~ 3 年	小4~	~ 6 年	44		ボラ	ランテ	イア	A ⇒1	内容	成果と課題
			7472 - 754	乳幼児	自由来館	学音クラブ	自由来館	学音 クラブ	中高生	大人			大人	合計		/// // 2 /// /2
		(3) 安全の日	12	0		510	0	0	0	0	0	0	2	515	月1回,紙芝居やDVDを利用して,交通ルールや館 内の約束を伝える。	毎月1日を安全の日として,交通ルールとタイムリーなテーマ(傘の版い方,熱中症,新型コロナウイルス感染症等)で実施。今後も声を掛け,子ども達が意識できるよう促していきたい。
		(7)中高生卓球	12	0	0	0	0	0	7	0	0	0	0	7	卓球をしながら楽しく過ごす。	定期的な利用につながるよう,可能 であれば学校に半年分の日付を書い たちらしを掲示するなど,周知方法 をより検討したい。
		(7)中高生タイム	41	0	0	0	0	0	89	1	0	0	1	91	中学生の来館を促し、中学生のやりたい活動を楽しむ	中学生が職員に近況を話しに来たり,ディアボロをしたり,中学生同士の交流や職員・他の来館者との交流を楽しむ機会となった。
		(2) いっしょにあそぼう	24	0	5	447	1	84	0	0	0	1	0	538	職員が月ごとに遊びを提案し、希望者が体験する。	コロナ感染症対策をしながら,実施 した。新しい遊びの提案の機会にも なり,子ども達は喜んでいた。
		(3)避難訓練(火災)	12	0	0	196	3	41	0	106	0	0	0	346	児童 耶事独やディザーとスセンターと合同など 様々な状況を想定して実施した。	定期的に消防署の立ち合いのもと実施をしている。今後もその都度,行動の確認や見直しをしていく。
		(3)避難訓練(地震)	3	0	0	67	2	19	0	0	0	0	0	88	地震が起きた際の避難について年3回実施した /#	今後も自由来館・学童クラブ・幼児 クラブなどそれぞれの活動の場面で 地震を想定し,実施していく。
		(3) 避難訓練(水害)	2	0	0	13	0	2	0	9	0	0	0	24	水害時の対応を訓練を実施した	今年度初めて火災ではなく、水害を 想定した場面で南消防署西八条出張 所の職員に立ち会っていただいた。 疑問な点が質問でき、良かった。
		(3)防犯訓練	2	0	0	51	0	12	0	0	0	0	0	63	学区を巡回しているスクールサポーターに参加していただ。 さ、不審者を想定した訓練を実施した。	スクールサポーターと確認した注意 事項を参考に、児童とともに防犯訓 練を実施した。職員が事前に学んで おいたことをもとに訓練できたこと は良かった。
		(3)絵本の会	12	0	0	221	0	0	0	13	0	0	0	234	九十四、日中四四日前が一成貝による子前、一面に心しし	1年生の人数が増えたため、2回に分けて実施した。おすすめの絵本には楽しいものが多く、好評である。
		(3)交通教室	2	0	0	95	0	21	0	3	0	0	0	119	職員が交通安全について児童に話をする。	職員が子ども達に向けて話したり, 管轄の交番から署員を招いて直接啓 をしていただいた。
	基	(3)防犯教室	2	0	0	99	0	25	0	3	0	0	0	127	防犯に ついて話を聞いたり、スクールサポーターより不審 者対策のアドバイスをうけたりした。	全職員が不審者対策についてスクールサポーターから研修をうけたこと や警察官が直接児童にお話をしても らえたことは大変有意義であった。
	本	(9) エコの日	12	0	0	506	1	99	2	4	0	0	0	612	る。 また、南エコまちステーションの職員にエコチャレ	SDGsについて学んだ際はすでに 実践していることについて再確認で きた。エコまち職員による浮沈子づ くりはとても喜んで制作していた。
子と	活	(3)高学年タイム	12	0	2	1	44	14	1	0	0	0	0	62		自分たちが企画した内容を楽しんで 準備し,実施していた。

₽		(3) 高学年自主企画	8	8	24	71	15	7	1	8	0	0	0	134	高学年タイムで企画した行事を実施する。	卓球・手形アート・おばけやしき・ フォトスポットづくりを実施した。 参加者にも好評で実施したことを喜 んでいた。
育	動	(4) 将棋クラブ	26	0	22	232	6	40	1	13	1	0	12	327	日本将棋連盟の先生やボランティアの先生にも月1回 ずつ 指導していただく。	1年生の登録人数が増加し、意欲的 に参加している姿が印象的であっ た。将棋交流会にも出場し、また、 館内の将棋大会も対戦を楽しんだ。
成機		(4) ディアボロクラフ	28	0	30	13	159	18	35	4	2	0	5	266	ディアボロの技の練習をし、その成果をお祭りや発表会で 披露した。	中学生が時間をつくり,可能な限り 練習に参加している。小学生から高 校生までが活動するクラブに成長で きた。
能		(4) バトンクラブ	27	0	8	58	13	6	11	1	2	0	1	100	バトンの技の練習をし、その成果をお祭りや発表会で 披露した。	3年ぶりに地域で発表できたことや 他のクラブも合同で終了発表会が実 施でき、達成感がえられ、クラブ活 動が充実した年になった。
		(4) けん玉クラブ	27	0	83	44	70	10	2	0	2	0	0	211	けん玉の技の練習をし、その成果をお祭りや発表会で 被露した。	クラブ内で中学生が小学生に指導してくれる姿もあった。5連けん玉を購入したことで、子ども達のやる気向上につながり良かった。
		(4)ちぎり絵クラブ	21	0	36	46	14	20	0	0	0	0	0	116	月2回,まつりや作品展に向けて制作する。	祭りや地域のサロン,近隣の銀 行などに展示していただき,子 ども達も制作する励みになって いる。
		(13) 学習サポート+	α 67	0	17	565	0	125	0	1	0	64	0	772	大学生ボランティアによる週2回程度の学習指導を 実施する。	小学生にとって大学生との関わりはとても楽しみにしている活動のひとつである。大学生の確保や調整が難しい面がある。
		(13) 中高生世代と赤ちゃんとの交流活動	3	16	0	0	0	1	16	23	0	0	0	56	妊娠・出産に関する知識を学び、育児中の保護者や 赤ちゃんとの関わりを通して次世代の出産育児につ なげる。	赤ちゃん人形や妊婦服の体験, 紙皿シアターの鑑賞など,中学 生と赤ちゃんや保護者が無理な く交流できる活動を実施出来
		(5)季節行事	4	0	0	171	1	31	0	0	0	0	0	203	季節行事にちなんだ紙芝居やゲームをして楽しむ。	季節の行事は様々な内容で子ども達に大切に伝えていきたい。 マンネリにならないように内容 を工夫したい。
		(5) 他館との交流	1	0	35	5	6	3	0	7	0	0	0	56	地域体育館にて洛陽児童館と一緒に遊ぶ(ドッジなど	代休日を利用して遊びで交流出 来た。
		合 計	360	24	265	3411	335	578	165	196	7	65	21	5067		
	推															
	進															
	活															
	動															
		合 計														

•												
子ども育成機能 合 計	360	24	265	3411	335	578	165	196	7	65	21	5067

*注 基本活動は、指針に基づき(2)遊びの教室活動(3)行事活動(4)クラブ活動(5)地域間交流促進活動(6)障害のある児童の居場所づくりと活動への参加促進(7)思春期児童の活動支援に分類して記入すること。 推進活動は、指針に基づき(9)地域を知る活動(10)移動児童館活動に分類して記入すること。 指定活動は、指定児童館のみ別途報告すること。

_			(令	和4)) 年度	ŧ.	45		新	事	業生	手 間	1 活	動 執	告 書	(京都市吉祥院)	児	童 1	绾
		活動名	実施回数	乳幼児自	小 1 ~ 由来館		参 小 4 ~ 自由来館		中高生	大人		ランテ	イア 生 大人	合計	内		容	成	果	と課	題
		(1)②WAIWAI広場	74	408	1	1	1	0	1	366	()	0 0	778	自由に来館してもらい、遊んだり ごしたり、ほっこりできる場や村), お話? 目談しや~	をしたりして楽しく過 けい場を提供する。	約参たすも館	削配 おるまた 一を 一を 一を 一と とく こう	定めし日用父もて	由ま施方来こ
		(1)①なかよしクラブ うさぎクラス	21	260	0	0	0	0	0	219	()	0 0	479	1歳8か月以上の子どもと保護者 じた遊びをする。	音を対象(こし,季節や年齢に応	あ発作たかと者ら要いな	そ童や などこっ望こびにあ普かしもたをと	ふ,わび家きいし利きと業。あ齢たしはい利で者新い容	や制 なこ用ものしれ
		(1)①なかよしクラブ ぱんだクラス	21	262	0	0	0	0	0	237	. ()	0 0	499	1歳8か月までの子どもと保護者 じた遊びをする。	育を対象 (こし,季節や年齢に応	だノ行年で行童をでのし	ナとっ冷削っ官引き公(字)で取たに作たできる要実をなりり応やりし,もな施検	遊く入,じ遊した即の物し討び,れ発たびたい時とをたし等ピて達内を。こ対時判りた	ア や容 児と応間断,
子ど	基本	(1)①なかよしクラブ つぼみクラス	15	94	0	0	0	0	0	96	. (0 0	190	概ね7か月までの子どもと保護者 子育て情報等を提供する。	音を対象(こし,親子間の交流や	5た実べ持た護実でたたラで子理でし、際でくこ者教育」。 ッにとて良	団 祭でっこ音勿ぎ ソよごご講離にいてとよをたとまプ,もき座乳保る来にり見ののたブ「のな	囲を食育離てよ「るで声,ッな写かたた気実で園乳もり実こ良をスキか真っ」。の施はで食ら,際とか頂クンなをたと	し、食をっ保にがつい グか整の

ŧ	П																		切りで行	0分貸し った。父
家	動	(2)親子で卓球	1	1	2	3	1	0	0	4	0	0	0	11	親子で卓球を楽しむ。				親の参加 親子で楽 いた。	
庭		(2) 家族で卓球	2	1	3	1	2	0	0	7	0	0	0	1.4	家族で卓球を楽しむ。					0分貸し った。父
支			2										0							しまれて
援		(2) ベビーマッサージ(2) 親子でフォト(2) マタニティフォト	1 1	6 4 0	0	0	0	0	0	10 4 3	0	0	0	8						
活		(2) みんなでリトミッ ク	2		0	0	0	0	0	28		0	0	96						
nGI.		(2) パパもすくすく 「パパすく!」 (2) みんなあつまれ!	3		0	0	0	0	0	39		0	0	66						
動		ちびっこひろば (2) 英語de知育あそび	1	21	0		0			31	0		5	52 24						
		(2) 親子でヨガ (2) なかよしクラブin 体育	1	19 22	0	0	0	0	0	19 20		0	0	38 42						
			147	1204	6	5	4	0	6	1091	0	0	5	2321						
		п п	子どもの	l .	件数				談経		件数	0			談 内 容	件数		つないだ機関等		件数
		(3)子育で家庭相談・援助 活動	乳児 幼児 小1~3年 小4~6年 小4~6年 中学生 高校生	F (学童) (自由来館)		児童村 保健所 子ども	斤 5支援セ 2童委員			}			家成教非	全育成問題 庭養育問題 長・発達問 育問題 行・問題行 の他	題		保 保 子 幼 小 学 中学	も支援センター 園・保育園 校 校 · 支援学校	}	
			件数	計				_							_ -			_		
		(4)子育てグループを育成支援する活動	グ, E [©] giris Kチーム マミーズ	ループ名		構成。 4 6 2			中の乳幼児	見親子が	助 内 集まり,		かを	したり,	育成・支払	受内容		成果と 気の知れた仲間で、子 の成長を喜んだり、卓 いた。	育ての話や	
				活動名		実施[可数					活 !	<u></u>	内 容				成果と調	期	
	推進	(5)子育てと健全育成に関	子育てにこ 法」「乳が 「子どもの 「防災講座 講座」	にこ講座 んセミナ 歯と健康	ー」 教室」	· 关加口		乳幼児親	見子向け <i>の</i>)講座を							7月に 座を実力 の方に を 上 い 心臓マン	放 末 と 前 歯の健康教室, 6月と1 坊災講座と乳がんセミナ 施した。参加者は真剣に 目談をされたりしていた。 電目に実施し、夫婦でき ッサージや誤嚥対処の実 されていた。	2月に救急 一, 10月 話を聞いた 。今年度は 加された方	に食育講 り,講師 救急法講 が多く,
	造活動	する啓発活動	ほっこり子	育てひろ	ば	1		「認める	5」をテー	ーマに,	グルーフ	プトーク	7を実	施する。			朝の歌	現子が参加した。乳幼児 や手遊びをした後,2つ さんの悩みや喜びについ ど。	のグループ	に分かれ

	京都市ごみ袋無料引き換え	随時	別さ換えに米られた方に児里期によりで乳幼児グラブの条内寺を一緒に条内してい	乳幼児親子に児童館のことを知ってもらうきっかけ となっている。乳幼児クラブに登録される方もい て,その後の継続利用につながっている。

[※]注 基本活動は、指針に基づき(1)乳幼児とその保護者を対象とする活動[①乳幼児クラブ活動 ②乳幼児の広場活動](2)家族参加を促す活動に分類して記入すること。

								Ź	> 加 人	数					
			活 動 名	実施回数	主 催	乳幼児	小1~		小4	~6年	中高生	大人	合 計	連携団体	成果と課題
						40-9176	自由来館	学童クラブ	自由来館	学童クラブ	山山町工	70,70			
			チャレンジ体験	0	京都市立洛南中学校	0	0	0	0	0	0	0	0	京都市洛南中学校	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止となっ た.
			みんなでふれあい!!ハッピー クリスマス会	0	社会福祉法人 清和園 村栄児童館 京都市祥豊児童館 京都市吉祥院児童 館	0	0	0	0	0	0	0	0	NPO法人ふれあい吉 祥院ネットワーク 祥栄児童館 京都市祥豊児童館	新型コロナウイルス感染症 拡大防止のため中止となっ た。
			公園であそび隊	3	あらぐさ保育園 京都市洛陽児童館 京都市吉祥院児童 館	17	0	0	0	0	0	26	43	子どもはぐくみ室	3回実施した。竹尻公園で しゃぼん玉やふれあいあそ び、読み聞かせを親子で楽 しんでもらえた。
			吉祥院児童館★2022★~聴いてみよう!作ってみよう!見てみよう!~	1	京都市吉祥院児童館	8	44	0	22	0	65	97	236	NPO法人ふれあい吉 祥院ネットワーク	3年ぶりに体育館で地域の 方を招いた行事を開催する ことができた。
		(A)	京都やんちゃフェスタ	0	京都市児童館学童連盟	0	0	0	0	0	0	0	0	京都市	梅小路公園での開催は,京都市の財政難により中止となった。
		(1)地域住民との交 流を促進する活動	京都市地域子育て支援ステーション事業「親子でしぼり染め」	1	祥南保育園 京都市吉祥院児童 館	0	7	0	4	0	0	10	21		昨年度に引き続き実施した。今年はTシャツを染料で染めた。参加者に喜んでもらえた。
116			京都市地域子育て支援ステーション事業「カプラであそぼう」	1	祥南保育園 京都市吉祥院児童 館	0	6	15	4	. 5	0	12	42		子ども達が普段から遊んで いるカプラを使った活動を 今年度初めて実施した。カ プラの使い方や遊びの幅が 広がったと思う。
地域	基		京都市地域子育て支援ステー ション事業「WAIWAI★ハロウィ ン」	1	祥南保育園 京都市吉祥院児童 館	16	3	0	0	0	0	16	35		昨年度に引き続き実施した。ハロウィンにちなんだ 衣装作りを楽しまれていた。
福			京都市地域子育て支援ステーション事業「クリスマス会」	1	祥南保育園 京都市吉祥院児童 館	25	1	0	0	0	0	33	59		3年ぶりに乳幼児親子対象 のコンサート形式のクリス マス会を実施した。参加者 はとても楽しまれていた。
			第32回下京区南区ブロックや	1	第2ブロック児童	0	0	0	0	0	0	0	0	各種団体	
祉	本 活		んちゃフェスタ 児童館がやってきた〜うきうき わくわくあそぼう〜	1	館 京都中介崎児里 京都・京都市市都市市 児童館・童館・童館・童館・童館・童館・童館・童館・童館・車 市唐橋児豊児童・ 都市都市市神吉 都市都市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市市	33	0	0	0		0	46		子どもはぐくみ室	
進			吉祥院児童館がやってきたおや こであそぼう	2	社会福祉法人 清和園 京都市吉祥院児童 館	39	0	0	0	0	0	50	89		

ŧ	養 動		親子みんなでつながろう	南区子ども問題連絡会 南区社会福祉協議会	6	0	0	0	0	0	15	21	南民生児童委員会 童福祉部会・南区 保育園所児童館	:児 [内	
É	E		みんなあつまれ!いっぱいあそに	ぎ 吉祥院子育てネッ トワーク	41	1	0	0	0	0	77	119	古会・正常の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の大学の	会女童・あ南マ	
			合 計	14 —	185	62	15	30	5	65	382	744			
			活 動	内 容	中高生	活 動 大学生	大	合 計			成	果	と課	題	
		(2)ボランティア	母親クラブ		0	0	15						方にアドバイスしぇ		
		活動の推進	パソコン教室		0	0	44	44	パソコンを	使ってのお	絵描きの	(仕方を-	子どもたちに教え,	子ども遺	きも喜んでいた。
				合 計											
				口印	0	0	59	59							
			連 携 団 体 等	連	携	内	容					成	果 と		題
			NPO法人ふれあい吉祥院ネットワ	-吉祥院ふれあいジャンボリー						間を短縮	て行わ!	れた。テ	ィアボロクラブ・	バトンク	拡大防止のため, 時 ラブ・けん玉クラブ 子ども達の自信に繋
		(3) 地域との連携を 促進する活動	南区子ども問題連絡会・社協・ 南区役所・南区内児童館	すくすくみなみ スマイル						なっている	5.		32,		め5組の予約制と
			吉祥院子育てネットワーク・南 区社会福祉協議会	吉祥院ふれあいサロン Good 1	Гime					館の職員を	バスタッ	フとなり	,感染症対策をし	ながらあ	団体,保育園・児童 そびの広場を開催し がとれる機会となっ

			組織	名称	構成団体・	個人	会議	/取組頻度	議	題/取組内容	成果と課題
地	基本活動	(4)児童館を支える地域 組織作り	運営協力委員会 NPO法人ふれあい吉祥院ネッ	ットワーク	吉祥院自治連合会等 市政協力委員 治委委員 治委委員 神南保育 が中南保育 が一時 は 神神 は 神神 は 神神 は 神神 は 神神 は 神神 は 神神 は		年4回			学童クラブ事業の説 意見を伺う。	
域			会場提供・位	備品貸出等	使 用 目	的	提供	先(団体・機関	等)		成果と課題
福祉促進機	推進活動	(5)地域への施設提供									
能			調査名	調査目的 乳幼児が動き回るため,	調査対象	調査主体		調査方	法		成果と課題
130			「公園であそび隊」時の安 全点検	危険等がないか使用前と 使用後に調べる。	竹尻公園	あらぐさ保育園・京 児童館・京都市吉祥		実施見回り		3館所で見回ることで	隅々まで確認することができた。
		(6)地域調査活動	「みんなあつまれ!ちびっ こひろば」時の安全点検	乳幼児が動き回るため, 危険等がないか使用前と 使用後に調べる。	竹尻公園	祥栄児童館・京都市 館・京都市吉祥院児		実施見回り		3館所で見回ることで	隅々まで確認することができた。
			登下館路の安全調査		吉祥院小学区・祥栄小学区 の登下館路	京都市吉祥院児童館		実施見回り		随時行い,危険である 談している。	と思ったところは、警察署等に相

(令和4)年度 児童館事業年間活動報告書 (京都市吉祥院)児童館

	広報物の種類	発行頻度	広報対象	広報方法	広報内容	成果と課題
広	児童館だより	月1回	吉祥院小学校 祥栄小学校 洛南中学校 吉祥院いき市民活動センター 青化院で発育園 保建を担心でくる 吉祥院の書館 吉祥院にといり、 吉祥院により、 古祥院のより、 古祥院会 自治連委員会 京都市民	同小学校で全児童・職員に配布同小学校で全児童・職員に配布掲示板で全児童・職員に配布掲示板で、工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工工		児童館の理念や活動方針を含め、色々な取り組みをPRできた。活動の集客をあげることにもつながった。学校で配布していただくことにより、全家庭、全児童にへ周知できる。 自治連合会の会長宅へお便りを持参し、月1回、顔を合わせて話ができる場にもなった。
報	行事の宣伝ポスター	イベント時	吉祥院小学校 祥栄小学校 洛南中学校 地域がも店舗 くみ室 吉祥院保育園 青祥院に言園 大学院に言園 大学院に言園 大学院に言園 大学院に言園	直接依依頼頼頼頼してしててももももももももももももももももももももももももももももも	日時・内容のPR 日時・内容のPR 日時・内容のPR 日時・内容のPR 日時・内容のPR 日時・内容のPR 日時・内容のPR 日時・内容のPR 日時・内容のPR 日時・内容のPR 日時・内容のPR 日時・内容のPR 日時・内容のPR	
活	インスタグラム	週 1 回	インスタグラム利用者	インスタグラムに児童館の様々 な記事を投稿する	各事業の案内・報告	利用者はもちろん、普段児童館を利用していない方や、児童館とかかわりのない方にも見ていただき、つながることができた。
動						

J	活動の基本目標 (指針)	主な取組名	(吉祥院) 児童館・学童保育所成 果 と 課 題
Ì			子どもが帰館した時や、帰りの会でしつかり挨拶をするよう促している。毎日職員が声掛けをする事により出来なかった子どもが挨拶をしっかり と出来るようになってきた。一人ひとりの子どもへの援助の側面から「生活の場」として家庭機能の代替するものであることを踏まえ、今後も挨 拶の大切さを伝えていき、毎日の積み重ねを大事にしていきたい。
		接拶の励行	登館時、食事やおやつの前は、手洗い・うがい・消毒の徹底を行っている。ハンカチを忘れる子が多いが、夏休み制作でハンカチの絞り染めを 行ったので持ってくる子どもも少しずつ増えてきた。コロナウイルス感染症に関連して、本読みする前やおもちゃで遊ぶ前などに手指消毒を行う よう指導し、外遊びが終わった後は手洗いをするよう指導している。
	安全・衛生の確保	衛生指導 学習の声掛け	よう指導し、外遊びか終わった後は手洗いをするよう指導している。 宿題をするように促している。前年度と同様1年生に関しては、しているかどうかの確認をしている。保護者から、お休みの時でも、宿題を先に する習慣がついていて助かっていますとの声があった。学校や保護者とも相談し、声掛ける徹底していく。
		安全指導	常に交通ルールや安全に過ごせるように安全の日や帰りの会で声を掛けたり子どもたちと一緒に考えたりしている。交番の警察官が来られた時に 教えてもらった「合図機断」を実践するよう帰りの会などで子どもたちに伝えている。子どもたちには登館時や帰宅時における安全指導や、犯罪 等からの自己防衛力を獲得出来るように今後も指導していく。
生舌		おやつの提供	好き嫌いが多い子が目立つ。今年度、苦手なおやつの日は代わりのおやつとして別のおやつを提案しているが、それでも食べられなかったり、2 日続けて同じおやつを食べたりしているので、今後の課題となっている。
援助機能		連絡帳提出	ほとんどの子どもが連絡帳を出す習慣はついているが、出し忘れ等の児童がいる。出ていない子どもには出すように声掛けをしている。今年度より壁に貼り出すことにした。目に見えるようにしたことによって、子どもたちのモチベーションが上がったようで、普段出し忘れていた子どもも 出すようになった。
ĦĒ		建始收 使由	新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、アルコールウェットティッシュを使用しロッカーの状き掃除と整理を行い、足りないものを確認し、 無い場合は保護者に用紙を渡して伝えて持ってきてもらえるようにしている。今年度はクラスごとに曜日を変えて実施したことによって一人ひと りに声かけが出来るようになったと思う。これからも毎月の積み重ねを通じて、個人の持ち物の管理や整理整頓について習慣づくように接助して
	健康の管理・情緒の安定	ロッカー掃除(1組) (2組)	いく。 月1回実施。新型コロナウイルス感染症拡大防止のためおもちゃの制限があるが、子ども違れ難に整頓したり、劣化しているおもちゃを見つけ たりしている。自分たちが使うものを大切にする気持ちを持つとともに、共有物の使い方をみんなで一緒に考えていく機会にしていきたいと思
	基本的生活習慣の確立	おもちや整理 (1組) (2組)	5.
	社会生活技術の獲得		
		ともだちの日(1組) (2組)	毎月、職員が認みきかせを通じて友達と仲良くする方法や。困ったことが起こった時にどうすれば良いかなどを子どもたちと一緒に考えている。 今年度は吉祥院図書館から「心の悩みに答えます」シリーズを貸し出してもらい。利用している。内容が多彩なため、今後も利用していきたい。 たくさんのおかつの中から自分の食べたいものを選ぶことができるので、食べ残しがなく食品ロスの軽減につながっている。また。長期休業中に 3年ぶりにおかしやさんを実施した。来年度も、子ともたちも時間に余裕があり準備の段階からかかわることができるので、長期休業中におかし
		おかしランド (おかしやさん)	やさんの活動が出来ればよい。 今年度もクラス別で行った。異年齢の特性を生かした役割分担をして、新入会の児童を歓迎しようという気持ちが表せた。来年度は、新型コロナ
	生活体験の拡大	歓迎会 みんな遊び(1組) (2組)	ウイルス感染症が収束して、全員で歓迎会が出来ると良い。 今年度もクラスごとに曜日を変えて行っている。高学年が自ら何をするのか企画している。子どもたちが自ら周りの子どもたちを楽しませたいという気持ちが変払ているように思う。
子ども		お誕生会(1組)(2組) 館内見学	今年度も各部屋でクラスごとに行っている。司会は高学年の子どもたちが司会の言葉を考えている。誕生児への質問タイムでは、同じ子どもが手を挙げていることが多いが課題である。 新入会児童に児童館の紹介やルールを伝え、実際に館内を見てまわることができた。。
育成機	社会性の養成	絞り染めハンカチ作り(1組)(2組) メッセージカード作り(1組)(2組)	ハンカチに色々な模様を施し、オリジナルのハンカチが作れた。子どもたちはできた作品を嬉しそうに保護者に見せていた。作品を返却した後、 普段はハンカチを忘れている子どもたちが持ってきていたので、エコの観点からも「数り染めハンカチ」をして良かった。 昨年度、こども造も保護者からも好評だったので今年度も実施した。保護者が「可愛いカードをありがとう」と子どもに声をかけていた。2年続けてメッセージカードを作ったので来年度どうするのか、今後検討していきたい。
能		敬老工作(1組)(2組)	新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、今年度は直接手渡せなかったが、子どもたちが手形を使って作品を作り、メッセージとともに職員 が届けた。
		クリスマス工作(1組)(2組) 館外活動	紙皿と毛糸を使ってクリスマスツリーの壁飾りを作った。高学年が低学年に作り方を敷えてくれた。それを見て、2年生が1年生に敷える姿もあった。高学年児 童がいることで低学年児童は自主性を学ぶことができ、異年齢集団の利点が生かされたと思う。米年度も季節を懲じられるような工作を検討していきたい。 吉祥院地域体育館でクラブ活動の見学をしたり、実際に道具を使ってみたりした。また、クラブ活動終了後は職員と一緒に広い体育館でのびのび
	自立の促進と自主性の尊重	思い出の会	と遊ぶことが 4月からの様子を写真入りのスライドショーで見ながら、1年間の学童生活を子どもたちと振り返った。子どもたちは自分たちの成長がスクリーンに映し出されると、職員と共に思い思いに威想を言っていた。来年度も子どもたちと1年間の思い出を話し合える会にしていきたい。
		学章だより発行(1組)(2組)	クラス別に月1回発行。子どもたちの日々の様子や行事子定、お知らせ等を掲載して子育てを楽しむ情報の提供をしている。裏面にて毎月のおやつ報告をしている。ホームページの吸コード以外にインスタグラムのQRコードも、学童だよりにて広報を行った結果、保護者の方から「見ているよ」との声があった。
		おやつの内容の報告	ムページの限コード以外にインスタクラムのQRコードも、学館だよりにて広報を行った結果、保護者の方から「見ているよ」との声があった。 クラス別に月1回発行。裏面にて毎月のおやつ報告をしている。
		連絡帳での児童の様子を報告	4月・9月・1月・3月に行った。記入ページに付箋をつけたことで、読んでもらえる人や家庭での様子を書いてくれる保護者が増えたように思われる。
7	子育てに必要な情報の提供	保護者懇談会1組・2組(個人懇談含む)	4月・6月・7月に実施した。保護者懇談会は新型コロナウイルス感染拡大防止のため短時間・少人数のグループにて開催し、子どもの様子やお知らせ・お願い事を話した。6月は個人懇談会を電話にて行った。清和園の法人理念や夏休みの過ごし方、親子行事などの活動計画を直接保護者に伝えることが出来た。また、保護者からの意見や要望なども関くことが出来た。また、保護者からの意見や要望なども関くことが出来た。また、保護者がもの意見や要望なども関くことが出来た。
· 左 変	と交換	新年度保護者懇談会(1組)(2組)	今年度も新型コロナウイル感染症の感染拡大防止機能がひかし、 今年度も新型コロナウイル感染症の感染拡大防止機能があり、 労・学金クラブ要項の記載事項に少し変更点があった。説明会自体はスムーズに終わったが、終了後さくらdaysに関しての質問や、休会について、新年生の保護者より、学校から児童館までの働り方や死帰りのことについて質問があった。
能	子育ての仲間づくり		
	子育てを支えるネットワーク 形成		

令和 4年度 学 童 ク ラ ブ 事 業 年 間 活 動 報 告 書

吉祥院児童館

		取組・行事名(クラス名) 実施回数 学童クラブ児童 登録外児童 ボランティア オーカリー										,				
	取組・行事名(クラス名)	実施回数	1年		*童クラフ 3年		5年	6年		^児童 4~6年				その他	合計	内 容*
	挨拶の励行	291	5801	3456	1895	1876	212	14	0	0	0	0	0	0	13,254	挨拶をしっかりする。
	衛生指導	291	5801	3456	1895	1876	212	14	0	0	0	0	0	0	13,254	手洗い、うがい、消毒の指導。
	学習の声掛け	291	5801	3456	1895	1876	212	14	0	0	0	0	0	0	13,254	自ら学習に取り組めるよう促す。
生活援	安全指導	291	5801	3456	1895	1876	212	14	0	0	0	0	0	0	13,254	帰館時や館内での安全に過ごすための約束事の指導。
助	おやつの提供	291	5801	3456	1895	1876	212	14	0	0	0	0	0	0	13,254	アレルギーに注意しながらの補食の提供。
機能	連絡帳提出	291	5801	3456	1895	1876	212	14	0	0	0	0	0	0	13,254	毎日の帰館時刻や保護者との連絡。
	ロッカー掃除(1組)	12	116	91	27	49	11	0	0	0	0	0	0	0	294	各自のロッカーを整理整頓する。
	ロッカー掃除(2組)	12	153	63	53	37	1	0	0	0	0	0	0	0	307	各自のロッカーを整理整頓する。
	おもちゃ整理(1組)	12	108	83	31	53	9	0	0	0	0	0	0	0	284	児童館のおもちゃの整理整頓。
	おもちゃ整理(2組)	12	153	66	66	42	1	0	0	0	0	0	0	0	328	児童館のおもちゃの整理整頓。
	大掃除	1	12	10	5	5	1	0	0	0	0	0	0	0	33	児童館の大掃除。
	ともだちの日(1組)	12	105	75	24	52	7	0	0	0	0	0	0	0	263	友達と仲良くするためのお話。
	ともだちの日(2組)	12	160	74	53	29	2	0	0	0	0	0	0	0	318	友達と仲良くするためのお話。
子ども	みんなあそび(1組)	12	120	88	29	64	9	0	0	0	0	0	0	0	310	学童高学年によるみんな遊び。
J も 育	みんなあそび(2組)	12	161	73	61	39	2	1	0	0	0	0	0	0	337	学童高学年によるみんな遊び。
成	お誕生会(1組)	12	120	88	29	64	9	0	0	0	0	0	0	0	310	誕生月のこどものお祝い。
機能	お誕生会(2組)	12	161	73	61	39	2	1	0	0	0	0	0	0	337	誕生月のこどものお祝い。
	おかしランド	11	236	156	82	84	8	1	0	0	3	0	0	0	570	50円分のおやつを選んで食べる。
	敬老交流	1	0	1	0	2	0	0	0	0	0	0	0	0	3	吉祥院老人デイサービスセンターの利用者との交流。
	館内見学	2	27	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	28	新入会児童への館内見学。

	歓迎会(1組)	1	13	10	4	8	0	0	0	0	0	0	0	0	35	新入会の友達をお祝いする。
	歓迎会(2組)	1	14	8	7	6	0	0	0	0	0	0	0	0	35	新入会の友達をお祝いする。
	夏休み制作(絞り染めハンカチ)(1組)	12	15	12	5	12	1	0	0	0	0	0	0	0	45	絞り染めハンカチ作り。
	夏休み制作(絞り染めハンカチ)(2組)	9	18	13	10	6	1	1	0	0	0	0	0	0	49	絞り染めハンカチ作り。
ŧ	夏休み制作(メッセージカード)(1組)	13	14	11	4	10	1	0	0	0	0	0	0	0	40	家族にメッセージカードを作り日頃の感謝を伝える。
育成機能	夏休み制作(メッセージカード)(2組)	13	18	13	9	4	2	1	0	0	0	0	0	0	47	家族にメッセージカードを作り日頃の感謝を伝える。
	ハロウィンパーティー	1	5	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	9	ハロウィン工作をしてあそんだ。
	クリスマス工作(1組)	8	8	10	3	4	0	0	0	0	0	0	0	0	25	毛糸と紙皿を使ってのクリスマスツリー作り。
	クリスマス工作(2組)	7	12	6	5	2	0	0	0	0	0	0	0	0	25	毛糸と紙皿を使ってのクリスマスツリー作り。
	思い出の会	1	16	12	6	9	1	0	0	0	0	0	0	0	44	1年間の思い出をふりかえった。
	館外活動	1	5	3	3	1	0	0	0	0	0	0	0	0	12	洛陽児童館の子どもたちと吉祥院地域体育館にて交流をした。
	学童だより発行(1組)	11	183	145	59	131	13	1	0	0	0	0	0	0	532	学童クラブでの児童の様子や行事予定等を知らせる。
	学童だより発行(2組)	11	215	151	105	77	23	11	0	0	0	0	0	0	582	学童クラブでの児童の様子や行事予定等を知らせる。
	おやつの内容の報告	10	334	247	137	173	30	10	0	0	0	0	0	0	931	月毎のおやつの内容を報告する。
子	保護者懇談会(1組)	8	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	60	61	子ども達の様子や行事の予定などを説明する。
育	保護者懇談会(2組)	9	2	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	77	81	子ども達の様子や行事の予定などを説明する。
て支煙	保護者個人懇談会(1組)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	14	0	14	児童館での子どもの様子と家庭での様子について情報交換する。
援機	保護者個人懇談会(2組)	4	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	17	0	17	児童館での子どもの様子と家庭での様子について情報交換する。
能	連絡帳での児童の様子を報告	3	101	75	40	51	9	3	0	0	0	0	0	0	279	子どもの様子を連絡帳で報告する。
	新年度保護者懇談会	6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	89	89	令和5年度学童クラブの説明会。
※注1	1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育	北掛此 (a) Z	会 で古怪!	総合に ファノ	△細1 ブネ	コナナステ	· L									

[※]注1 行事名は、(1)生活援助機能 (2)子ども育成機能 (3)子育て支援機能 に分類して記入すること。

[※]注2 2クラス以上の館所で、クラスごとに異なる取り組み・行事を実施した場合は、行事名と合わせてクラス名を記入すること。